

## 2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。

## 3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

## 7 平成24年度の特筆すべき事項

平成24年度、札幌市立大学では以下のような特筆すべき事項があった。

## 1) 新理事長体制の始動

平成24年4月より新理事長・学長に蓮見孝が就任した。蓮見新理事長は着任後より積極的に学内の意見を集約し、第二期中期目標ならびに第二期中期計画を踏まえ、第二期経営戦略を策定し、以下の4基本方針が示された。

- ① 「地域創成の核となる大学づくり（COC（Center of Community））」の積極的な推進
- ② 人の生活と社会の持続的充実・発展に寄与する教育・研究・社会貢献活動の三位一体による推進
- ③ デザインと看護の有機的連携と、連携成果をいかした新たな科学の基盤づくり
- ④ 大学の社会的プレゼンスを高めるための施策の推進

## 2) 第二期中期計画始動

第一期中期計画（平成18年度～平成23年度）終了に伴い、第二期中期計画が始動した。

札幌市が策定した「大学の存在感を高める」ならびに「目標の重点化」を基本とする第二期中期目標（平成24年度～平成29年度）を受け、札幌市立大学では第二期中期計画を策定し、「教育」「研究」「地域貢献、国際化、大学間連携」「業務運営の改善及び効率化」「財務内容の改善」「自己点検・評価」「その他業務運営」に関する目標を掲げた。平成24年度は63項目の年度計画を立案、実施した。

## 3) 大学院博士後期課程の開設

本学では、平成22年度から大学院デザイン研究科修士課程及び同看護学研究科修士課程を設置し、高度専門職業人、研究者及び教育者の育成に取り組んできた。

平成24年度から大学院博士後期課程を開設し、デザイン研究科、看護学研究科ともに、2年間の博士前期課程（修士課程）と3年間の博士後期課程からなる「区分制」大学院として再組織した。

## 4) 平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」採択

北海道・東北地域の17大学が協同して、産官学連携による人材育成を目的とした文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に応募し、「産官学連携による地

域・社会の未来を拓く人材の育成」の取組が採択された。この事業のもとで札幌市立大学では、早期キャリア教育、往還型研修、ワークショップ型インターンシップの実施やポートフォリオを活用したキャリア支援教育体制、キャリアデータベースの構築等に取り組むとともに、大学・企業連携による地域キャリア連携体制の強化を図っている。

また、この採択に伴い、通常のFDに加え、デザイン学部では教員向けのキャリア指導力強化のためのFD研修、看護学部でも、教員向けラーニングポートフォリオ指導力強化のためのFD研修を行っている。

#### 5) 北海道立総合研究機構との連携協定の調印

北海道の農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の広範にわたる研究開発や技術支援等を実施している地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）と連携協力協定を調印した。連携協力内容は「研究開発の推進」「研究者等の交流」「研究資源の共有」「広報活動等に係る協力」であり、今後は、この協定に基づき、研究シーズや人材、施設など研究資源を有効に活用して相互に連携・協力し、互いの研究・技術分野を補完・強化することにより、地域社会への貢献、道内産業の振興及び道民生活の向上を図ることを目的とし、活動を推進している。

#### 6) 「コネキッド」が「キッズデザイン賞」を受賞し、「キッズワークショップカーニバルinふくしま」に参加

7月に地下歩行空間を使って開催した「あたま」「こころ」「からだ」を活かす遊びをテーマにした公開講座「コネキッド（connekid）」が、キッズデザイン協議会による「キッズデザイン賞」を受賞した。その結果、福島で開催された「キッズワークショップカーニバルinふくしま」への参加要請があった。札幌市立大学の復興支援事業として参加し、多くの子どもたちに喜ばれるなど成果を挙げた。

#### 7) 国際交流事業

提携校関連では、7月、又松大学（韓国）主催の「2012又松大学 日本姉妹大学生韓国語学・文化体験研修」にデザイン学部学生5名が参加した。8月、デザイン学部とのワークショップを相互に開催してきた台湾の華梵大学に札幌市立大学の学生15名を派遣し、華梵大学学生とのワークショップに参加した。9月には中国の承德医学院大学の学生5名を派遣する予定であったが、社会情勢の悪化を受け、やむなく延期とした。

この他、提携校以外との交流では、5月には「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環で看護学部生がカンボジア、ラオスの視察を行った。9月、ノボシビルスク建築美術大学（ロシア）とデザイン学部が連携し、空間デザインワークショップを開催した。3月には、国際交流基金に採択されたデザイン学部ならびに研究科の学生が、中国の大連にて「ふれあいの場 日中交流イベント」を実施した。

#### 8) 桑園キャンパス増築

桑園キャンパスではPC教室、ロッカー室ならびに図書館の狭隘化が課題となっていたが、増築を行い、環境改善を行った。元ロッカー室のスペースに新たに設置した新学生ラウンジは広く、明るく、学生が過ごしやすいスペースとなっている。

#### 9) 地域連携

平成24年度より地域連携専門員を1名雇用し、地域連携活動の促進を図った。11月22日には2度目の「SCU産学官研究交流会」を開催し、教員の研究成果を報告する事業を行った結果、130名を越す来場者があった。また、行政、民間企業等をデザイン学部及び研究科の卒業・修了展に招待する「卒展ツアー」を実施した。

平成23年度に協力協定を調印した札幌芸術の森とは、共催の公開講座の実施した他、札幌芸術の森主催事業の「福田繁雄展」と連動した企画展を図書館で開催し連携を図った。

## 10) 学会活動の誘致

平成24年度は、日本デザイン学会、日本看護管理学会、SAGAシンポジウムの主催校となり、本学ならびに札幌市内の会場にて学会を開催した。

## 11) その他の活動

昨年度の夕張に引き続き、NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団が主催する「奔別アートプロジェクト」のアートプロデューサーを上遠野敏教授が担当し、企画・制作・運営に関わった。このイベントは、北海道三笠市にある旧住友奔別炭鉱・選炭施設（石炭積み出しホッパー）をメイン会場にアートの力で炭鉱遺産の価値と記憶を甦らせ、炭鉱の記憶を掘り起こすことを目的とする。本学からは17チーム総勢28名の学生が参加した。

## 8 行事

前期開始	4月1日
入学式・後援会総会	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月5日
前期履修登録期間	4月5日～18日
健康診断	4月16日・18日
第1回オープンキャンパス	6月16日
デザイン学部編入学試験	7月21日
前期定期試験期間	7月31日～8月10日
夏季休業	8月11日～9月5日
看護学部編入学試験	9月8日
助産学専攻科入学試験	9月8日
第2回オープンキャンパス	9月22日
後期ガイダンス	9月28日
大学院デザイン研究科博士前期課程入学試験	9月29日・30日
大学院看護学研究科博士前期課程入学試験	9月29日
前期終了	9月30日
後期開始	10月1日
後期授業開始	10月1日
後期履修登録期間	10月1日～12日
大学祭	10月6日・7日
特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月24日
冬季休業	12月22日～1月6日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	1月26日
後期定期試験期間	2月5日～18日
一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
大学院デザイン研究科博士前期課程入学試験（2次募集）	3月2日
大学院看護学研究科博士前期課程入学試験（2次募集）	3月2日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	3月2日
春季休業	3月5日～31日
一般選抜入学試験（後期日程）	3月12日
卒業式	3月19日
後期終了	3月31日